

# エコニュース さって



第 8 4 号  
令和 2 年 8 月 20 日  
さって市民環境ネット  
TEL 48-0331

## 第 39 回幸手市健康福祉まつりに参加して

報告； 坂本

令和元年11月3日、ウエルス幸手にて、健康福祉まつりが開催されました。さって市民環境ネットは毎年このまつりに参加し、幸手市の自然環境の素晴らしいところやさって市民環境ネットの活動内容を市民の皆様に紹介しております。

### 1) 腐葉土と野菜づくりの会

落ち葉を使った腐葉土づくりを実施しています。また、野菜づくりでは、玉ねぎ、ジャガイモ、サツマイモ、枝豆、大根等を植え付けから収穫までを仲間と力を合わせて実践しています。また、ジャガイモ、玉ねぎを使ってカレーライスを作り、みんなで収穫の喜びを感じています。



#### 腐葉土をつかった野菜づくりの紹介

ます。強力な根茎を横に伸ばしどんどん増えています。見かけたら根ごと抜き出しましょう。

### 3) 緑のカーテン

南公民館でゴーヤを育て緑のカーテンを作り、夏の暑さを防ぐとともに、収穫物も得ようとするものです。気になるゴーヤの行き先ですが、南公民館を利用する市民の方にお分けしています。部屋の温度も下がり、見栄えが涼しくなり、食べてよしです。

### 4) ホウネンエビ観察と身近な植物観察

### 2) 宇和田公園と中川の案内

幸手の自然を多くの市民に知っていただきたいと願い、宇和田公園の四季の写真の展示。また、そこを流れる中川の流れをジオラマ展示しました。近年、地中海地域原産のセイバンモロコシという植物がはびこってきました。背丈2メートル程と高く、イネ科の多年草で、強害雑草とされていてい



#### 宇和田公園と中川の案内

皆さん、ハウネンエビ、知っていますか？



### 様々な活動の紹介

自然と触れ合ってきました。

第2回の環境講座は、11月初めに茨城県小美玉市にある「カゴメ茨城工場」、つくば市の「食と農の科学館」を見学しました。

第3回の環境講座は、野鳥観察会です。2月の初めに、北公民館から中川、行幸湖、高須賀池の野鳥を見る会です。

第4回の環境講座は、室内での勉強会です。「ゴミを減らそう」という講話、それにさって市民環境ネットのメンバーによる「海外のエコ事情」の報告です。

さって市民環境ネットは、身近な環境を守るため、自分たちでできる事業を実施しています。自分たちの活動が現在、また将来の幸手にとっていいものであればと思い活動を続けています。自分の参加してみようとお考えの方がいらっしゃいましたら、お気軽にお声をお掛けください。

## 第2回市民環境講座に参加して

### 報告： 藤城

毎年、市のバスを利用して行われる環境講座が11月14日（木）に開催された。参加者はスタッフも含めて30名。今回は2つのエコ実践事業所を訪れる。



積水ハウスエコファーストパーク玄関にて

最初は古河市にある積水ハウス（株）エコファーストパーク。建物を解体した後の建設資材のゼロエミッションを目指して80品目に分類し、ほぼ100%近い再利用率を達成しているとのこと。私達は畳の分解工程を見学。人の手で糸を切りながら、畳表、ヘリ布、合板にサンドイッチ状にはさまれたウレタンの芯が手際よく分解されて行く。熟練の職人技だ。隣には金属やガラ

ス、瓦、プラスチック類がキッチンと分けられて再利用を待っている。分ければ資源を実感する。

すぐそばのエコ実験住宅も見学する。自然の風や太陽光、雨水や樹木などを利用して住まう工夫がいろいろな所に見られる。すぐに自分の家に取り入れられないが、これからの事を考えると興味深い取り組みだ。

2番目に訪れたのは幸手市のその他プラのゴミ処理をお願いしている下野市のウィズ ウェイストジャパン栃木工場。ここでは卵のパックやトレイ、プラスチック系の容器など私達が燃えるゴミ以外に出している、プラゴミが多く市の町から集まって来る。幸手市の他に11の自治体から受け入れているので各自治体のゴミの状態が比較できる由。



手で行われるプラゴミの仕分け

幸手市はAAAで返却率が低く良い状態だという。出す時は注射器やカミソリ、汚れのついたものを入れない様注意してほしいとの事。

全てのプラゴミを人の目と手で仕分けしている為で、危険な物はゴムの分厚い手袋を通してケガをしてしまうとの事。本当に根気のいる大変な作業だ。ここで一つ学んだ事がある。いつも半透明の大きな袋にその他プラを入れて出していたが、大きな袋は返却されてくるという事だ。“容器包装リサイクル”の対象にならないのでスーパーやコンビニの袋に入れるといいらしい。最近のレジ袋を使わずマイバックを使おうという流れに逆行するようで矛盾を感じるが、法律でそうなっているとの事。何か良い知恵はないものだろうか？これからは汚れを取ってキッチンと分別して出そうと改めて思った。

今回訪れた2つの事業所はどちらも「資源を大切に自然と共生できる社会」、そして「持続可能な循環型社会」を目指して取り組みを続けていることを知った。とても有意義な1日だった。

## 「第14回子育て応援まつり遊&愛」に参加して

報告：澤村 小谷



魚作り楽しい！

令和元年12月8日(日) ウェルズ幸手で「子育て応援まつり遊&愛」(同まつり実行委員会主催)が開催されました。参加団体は市内29グループで、我が「さって市民環境ネット」も“親子で作ってあそぼ!”(エントランスホール)と“映写会”(2階)の2テーマ、併せて“さって市民環境ネット活動報告の展示”で参加しました。

スタッフは9時集合、10時開始です。ボランティアの大学生2名が協力してくれました。

“親子で作ってあそぼ!”の「魚を作って魚釣り」、「アンパンマンとバイキンマンのパズル」、「とんとん紙相撲」、「ドングリとマツボックリで作る

隣のトトロ（置物）」には、多数の親子や小学生が見えて、小さな子は親やスタッフに教わりながらも、自分でやる意欲を見せて、年長や小学生になると自分でつくる・やる姿勢を見せて作り上げた後の“やった、作ったよ”の誇らしげな様子で、我々の子供時代の親に従うとは違うと感じました。



お姉さんとお母さんと一緒に「となりのトトロ」づくり

また、大人の既成概念に対して、子供たちは作りながら新しいアイデア・発想が出てきて驚き、逆にスタッフが勉強させられました。

スタッフとしては、子供たちが遊び・学び・作る・楽しく過ごしてくれたことに多に満足し、またボランティアの学生が協力してくれて円滑に進めることが大変助かりました。

反省としては、資材が不足してしまい一時席を空けて補填したこと、また子供たちの関心に偏りがあり、次回は資材を多めに準備し、またレイアウトを見直そうと思いました。

2階の映写会は昼から行い、1階の賑わいから沢山の来場者を期待して準備しました。ただ数年前の立ち見がでる風景とはいかず、20人の親子が観てくれました。

今回の上映作品は文部省推薦の「かさごじぞう」、「おむすびころりん」と「ある島のきつね」、「大男とクリスマス・ツリー」の4作

品を上映しました。皆さん真剣に観てくれましたが、後半の2件が人魚劇のアニメでしたので午前中の人魚劇と重なり失敗した感があります？ また、1階の催し物の音や声に引っ張られて人達もいたように思えます。まだ作品の選定に工夫が必要だと反省しています。

なお、全体の来場者数は、一般680名、学生ボランティア64名、スタッフ196名の計940名で、我がブースへの来場者数は198名と昨年よりは多く大賑わいでした。

**【会員募集中！】**環境保全活動を一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。[さって市民環境ネット] ★問い合わせ先；久保田 修 (代表) まで TEL 0480-42-1264

**幸手の環境活動グループ：**幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)